

2011年1月12日

小樽市長

山田 勝磨 様

原水爆禁止北海道協議会



米海軍第7艦隊イージス艦フィッツジェラルドの小樽港寄港計画を拒否されるよう

要請いたします。

市民の安全と福祉の増進、地域経済の振興のためにご尽力されている貴職に敬意を表します。

新聞報道によると、米海軍第7艦隊イージス艦フィッツジェラルドが2月5日から9日まで小樽港寄港を計画していると報じられています。2009年2月に続き2回目の寄港計画です。

ご存じのように、小樽港は1961年以来、米海軍は毎年恒例のごとき寄港計画を強行しています。日本政府を含む諸国政府の民間・貿易港の軍事使用を認めることは軍事高揚、戦争協力への危険な道です。

私たちはあらためて、貴職が勇気ある決断のもと、今回の米艦寄港計画を拒否されることを心より期待し、以下の要請を申し上げます。

記

- 一、民間港を軍事利用させないために、軍用艦船の寄港を許可しないこと。
- 二、非核証明書の提出のない外国艦船の入港は拒否すること。

1…ご承知の非核・神戸方式を採用されたい。

2…在札幌ロシア連邦総領事館総領事は、2010年10月15日にロシア太平洋艦隊所属アドミラル・パンテレーエフの函館港入港計画の際、非核を証明する文書を提出しています。

核兵器保有国としては、当然の判断です。米国とて例外とすべきではありません。貴職は小樽方式として、寄港計画の許可判断の際、核兵器の搭載有無を外務省に照会されていますが、日本政府外務省の対応・回答は虚偽であり、米国政府の発表政策への追従・代弁のくりかえしであることは十分ご存知のことと存じます。

2010年7月1日の小樽市総務部との懇談会で提案しましたが、日本政府と米国政府との事前協議の実施を求め、事前協議での米国回答を判断材料の一つとすることは如何でしょうか。

3…年度末を控え、諸事多忙な折とは存じますが、直接、お会いできる機会の場を設けていただけると幸いです。

期日・時間・場所などの調整は当方よりも、連絡させていただきます。

以上